

【岐阜県鉱工業指数作成の概要】

- | | |
|----------|--|
| 1 基準時 | 令和 2 年 |
| 2 採用品目 | 付加価値額ウエイト生産指数 1 6 9 品目
生産者製品出荷指数 1 6 9 品目
生産者製品在庫指数 1 0 3 品目 |
| 3 ウエイト | ウエイトの算定にあたっては、「令和 3 年経済センサスー活動調査」「経済産業省生産動態統計調査」「岐阜県鉱工業生産動態統計調査」等を基礎資料とした。 |
| 4 算式 | 基準時固定加重算術平均法（ラスパイレス算式） |
| 5 分類 | 分類は、日本標準産業分類に準拠し、これに該当する各品目を所属させた業種分類と、品目の経済的用途に着目した特殊分類の二通りの方法によっている。 |
| 6 季節調整 | センサス局法（X-12-ARIMA） |
| 7 年間補正 | 令和 7 年 1 月分から令和 7 年12月分までの実績値を見直して確定値を算出し、原指数を再計算、同時に季節指数を再計算し、季節調整済指数を更新した。 |
| 8 利用上の注意 | (1) 解説文中で特に注意書きのない場合、生産指数の動向を述べたものである。
(2) グラフに記入されたⅠ～Ⅳの数字は、第 1 四半期～第 4 四半期（暦年ベース）を表している。
(3) 指数の伸び率の記述は、原則として「上昇」、「低下」を用いているが、品目別分類を使用する場合には、混乱を避けるため「増加」、「減少」を用いている。
(4) 在庫指数の年、四半期の数値は、年末、期末値を用いている。 |